



のべおか



市議会だより

第61号

平成26年11月1日発行
(2014年)

発行:延岡市議会
編集:広報・広聴特別委員会
〒882-0813 延岡市東本小路121-1
TEL(0982)22-7029

シリーズ ～延岡の観光スポット(北方編)～



秋深まる北方に
いつちみるや

鹿川溪谷



土木遺産認定の 網の瀬橋梁



道の駅に登録された よっちみる屋



北方特産の次郎柿と栗



北方町総合支所に展示されている
干支の焼き物 (レリーフ)

☆主な掲載内容

- ◆9月補正予算審査…………… 2～3
(九州保健福祉大学の支援に関すること… 3)
- ◆9月議会で決まったこと …………… 4
- ◆一般質問ほか …………… 5～7
- ◆議会活動報告会、編集後記など…………… 8



9月議会で補正予算をチェック

主な補正予算の概要

●一般会計…………… 9億406万2千円

①臨時景気対策事業(18事業) …………… 1億9,026万8千円

公共施設の補修や市道、農道、林道の補修などを行い、併せて市内の経済活性化を図る。

②乳幼児・ひとり親家庭等医療費助成電算処理事業…………… 313万2千円

平成27年度より、乳幼児医療費について、助成対象の範囲を一部拡大(入院の助成を小学校卒業までに拡大)することに伴い、既存システムを改修する。

③クレアパーク延岡工業団地第2工区分譲事業…………… 1億4,058万7千円

企業立地の受け皿として整備した当用地の一部を企業に譲渡するため、土地開発公社から用地を購入する。

④大学学部等設置助成事業…………… 7億円

- ・ 設置予定学部：生命医科学部
- ・ 入学予定定員：1学年60名(4学年 計240名)
- ・ 開設予定時期：平成27年4月
- ※臨床検査技師と細胞検査士のダブルライセンスを取得可能
- ※がん幹細胞の研究やiPS細胞を利用した再生医療の実現に向けた研究を行う「がん細胞研究所(仮称)」が併設予定
- ・ 新学部設置による効果：東九州メディカルバレー構想やメディカルタウン構想の更なる推進、地域医療の充実など
- ・ 補助額：新学部設置に伴う経済効果をもとに積算(九州経済調査協会)

●国民健康保険特別会計…………… 1億4,404万5千円

●介護保険特別会計…………… 2億6,464万6千円

●後期高齢者医療特別会計…………… 316万8千円

●水道事業会計…………… 1億13万0千円

一般会計及び各会計の補正予算を可決

9月補正予算は、議長を除く議員26名で構成する予算審査特別委員会において審査し、九州保健福祉大学新学部設置に関する支援を含む一般会計は賛成多数で、その他、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計と水道事業会計については全員異議なく可決しました。

なお、これらの補正予算については、最終日の本会議においても同様に可決しました。





九州保健福祉大学の新学部設置への支援

九州保健福祉大学の新学部設置支援については、6月議会、9月議会での一般質問を経て、予算審査特別委員会の中で、さらに質疑を重ね、可決しました。主な質疑・応答は下記のとおりです。

Q. 九保大に補助する7億円の根拠は？

A. 予想される消費効果を限度額にした。

新設される生命医科学部の設置後4年間の学生と教職員の消費効果が7億3,090万円と試算(九州経済調査協会積算)されており、その額を補助の限度とした。

Q. 今回の高額な補助により、他の事業に相当影響が出るのではないかと？

A. 一般財源に極力影響が出ないように努める。

7億円の財源の内、90%は地域活性化事業債(毎年約3,300万円、15年償還)を活用し、残りの7,000万円についても地域づくり推進事業基金を充て、市民密着事業の予算はしっかり確保するよう努める。

Q. 7億円の財源は、体育館や道路整備等、生活に密着したインフラ整備に充てることはできないのか？

A. この財源は一般的な事業に活用できない。

地域活性化事業債は、定住自立圏構想(※)の中でビジョンとして掲げている事業を対象にした起債であるため、一般的な事業には活用できない。

Q. 大学が経営的に厳しいから支援をするのか？

A. 投資的な支援である。

大学への赤字補てんではなく、市としては投資的な支援と考えている。

将来、本市のメディカルタウン構想などの推進に寄与するし、設置から15年間での経済効果が約40億2,000万円と積算されており、経済効果としても何倍にもなって市に戻ってくる。

Q. 他の地域では大学が撤退した事例があるが、その可能性はないのか？

A. そうならないように取り組む。

地域と大学との信頼関係をしっかり持ちながら、その時々で状況に応じてどこまでが望ましい支援の姿なのかということを真剣に議論していかなければならない。今回の支援判断は、そのようなプロセスを経てきた。

※定住自立圏構想って？

定住自立圏構想は、近接する市町村が生活機能の強化やネットワークの強化など様々な分野で相互に協力、連携することで、自立的、持続的な地域づくりをめざし、圏域全体の活性化を図るものです。県北の2市5町2村で構成し、延岡市が中心市を担っています。

附帯決議(委員会の意見・要望)の内容

予算審査特別委員会では、今回の平成26年度一般会計補正予算を可決した後、「行政は以下の4点について、九州保健福祉大学へ要望する」ことを附帯決議として可決しました。

- 九州保健福祉大学が、教育と研究の殿堂として、今後も地域に根ざした大学であり続け、市民とともに末永く歩んでいくこと。
- 九州保健福祉大学が、東九州メディカルバレー構想・延岡市メディカルタウン構想の一翼を担うとともに、延岡市民に愛される大学として、市民の福祉と健康の一層の向上に寄与すること。
 - 細胞検査士養成所としての機能を併せ持つような展開に努めること。
 - 生命医科学科及びがん細胞研究所としての機能については、他の研究者や民間企業等との共同研究を可能とするなど、開かれた大学を目指すこと。
- 九州保健福祉大学の施設を今後とも広く市民に開放すること。
- 施設の建設及び器具等の購入に際しては、極力、延岡市内の業者の活用に努めること。

また、延岡市民が九州保健福祉大学を自分たちのまちの大学として誇りと敬意を持てるよう、市民感情の醸成を図ること。



9月議会で決まったこと

9月議会では、一般会計補正予算など27件の議案と意見書を1件可決し、17件の報告を受けました。また、一般質問では3日間で12名が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、九州保健福祉大学新学部開設への支援など多岐にわたる質疑が活発になされました。平成25年度の決算関係の議案につきましては、議案の熟読期間を設け、12月議会まで継続して審査することにしており、11月に決算審査特別委員会を開き、審査する予定です。

議 案

平成26年度 延岡市一般会計補正予算
平成26年度 延岡市国民健康保険特別会計補正予算
平成26年度 延岡市介護保険特別会計補正予算
平成26年度 延岡市後期高齢者医療特別会計補正予算
平成26年度 延岡市水道事業会計補正予算
延岡市長期総合計画条例の制定
延岡市土地開発基金設置条例の一部改正
延岡市道路占用料徴収条例の一部改正
延岡市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の一部改正
延岡市中小企業振興センター条例の一部改正
延岡市乳幼児医療費助成に関する条例及び延岡市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正
延岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
延岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定
延岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
議決事項の一部変更(新庁舎建設 1期建築主体工事)
議決事項の一部変更(新庁舎建設 電気設備工事)
財産の取得(カウンター(新庁舎3階から6階への設置分))
財産の取得(カウンター(新庁舎1階から2階への設置分))
財産の取得(新庁舎議場の机類及び傍聴席)
財産の取得(高規格救急自動車)
財産の取得(クレアパーク延岡工業団地第2工区用地)
工事請負契約の締結(市営住宅(昭和町第1団地)A棟建築主体工事)
専決処分承認(和解及び損害賠償の額の決定)
財産の処分(クレアパーク延岡工業団地第2工区用地)
教育委員会委員の選任
公平委員会委員の選任
人権擁護委員候補者の推薦



(建設が進む市役所新庁舎)

可決(承認)した議案と報告などの一覧

報 告 案 件

延岡市土地開発公社の経営状況
公益財団法人延岡総合文化センターの経営状況
一般財団法人延岡市高齢者福祉協会の経営状況
株式会社ヘルストピア延岡の経営状況
有限会社延岡市リサイクルプラザゲン丸館の経営状況
一般財団法人速日の峰振興事業団の経営状況
一般財団法人北浦町農業公社の経営状況
北浦総合産業株式会社の経営状況
株式会社北川はゆまの経営状況
一般社団法人北川町畜産公社の経営状況
専決処分の報告(物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定)他4件
健全化判断比率の報告
資金不足比率の報告

意見書を国に提出!!

延岡市議会では本市だけでは解決できない課題について、地方自治法に基づき、関係機関に意見書を提出しています。9月議会では、左記の意見書を可決し、国に提出しました。

「森林整備加速化・林業再生事業の継続」を求める意見書

国においては、今後の予算編成に当たって、基金事業である「森林整備加速化・林業再生事業」の継続と、森林・林業の再生に必要な財源を確保されるよう強く要望する。

請 願・陳 情

特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書の提出に関する請願 (不採択)
集団的自衛権行使を容認した閣議決定の撤回を求める意見書提出に関する請願 (不採択)
特定秘密保護法の撤廃を求める意見書提出を求める陳情 (不採択)
延岡市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例の改正を求める陳情 (不採択)
九州保健福祉大学の新学部設置に対する延岡市の財政支援に反対する陳情 (不採択)
延岡市議会基本条例に関する違反措置及び罰則規定を設けることを求める陳情 (不採択)



9月9日	 上杉泰洋議員 (無所属クラブ) ○九保大の資産 ○城山と内藤記念館の整備 ○子ども・子育て支援制度 他	 佐藤 誠議員 (延岡きずな自民の会) ○ふるさと納税 ○人口減少の歯止め対策 ○市有林・市行林の財産管理 他
	 長友幸子議員 (社民党市議団) ○九保大の新学部設置支援 ○土曜授業 ○災害時の避難所 他	 甲斐正幸議員 (のべおか市民派クラブ) ○運動器具購入補助制度 ○犬猫の不妊手術補助制度 ○犬猫殺処分の現状 他
9月10日	 西原茂樹議員 (公明党市議団) ○長寿祝金支給事業 ○フッ化物洗口 ○少子化問題における婚活 他	 平田信広議員 (日本共産党) ○子どもの医療費助成拡充 ○障がい者施策を拡充 ○九保大への補助 他
	 上田美利議員 (延岡きずな自民の会) ○過疎対策 ○バイオマス発電施設 ○修学旅行 他	 葛城隆信議員 (友愛クラブ) ○遊休施設の活用 ○まちなか循環バス優遇制度 ○公共施設維持管理 他
9月11日	 白石良盛議員 (延岡きずな自民の会) ○乗り合いタクシー ○クレアパーク延岡第2工区 ○和田越決戦の地整備 他	 中城あかね議員 (無所属クラブ) ○学校給食 ○農業公園 ○6次産業化・農商工連携 他
	 本部仁俊議員 (友愛クラブ) ○人口減少社会への対応 ○日豊海岸地域の観光振興 ○土砂災害対策 他	 内田理佐議員 (延岡きずな自民の会) ○指定緊急避難ビル ○子ども・子育て支援新制度 ○愛宕通線別府工区の事業化 他



議員12名が一般質問

※質問の一部を掲載します。

市政を問う!!

9月9日質問

九保大の資産

【問】今回の支援は将来への投資という説明であるが、投資先の大学の資産現況は。

【答】大学の資産は、財務目録では、総額約45億円、負債総額は約46億円であり、正味財産は約408億円となっている。

城山と内藤記念館の整備



内藤記念館

【問】城山と内藤記念館の整備は近い施設でありながら、当局の説明では、それぞれ単独で行われているように感じられる。文化・歴史・観光・市民の憩いの場等として、統一しての整備の考えは。

【答】城山周辺整備の一環と

しての内藤記念館再整備の考え方にに基づき、関係課で随時庁内会議や情報交換を行って実施する。

ふるさと納税

【問】ふるさと納税者の市民税控除額拡大を起点として、本市の農業振興を促すうえで、本市場産品の贈呈は。

【答】今こそ観光や食を全国に情報発信していく大事な時期に来ている。その方式について検討していく。

人口減少の歯止め対策

【問】地方の人口減少の歯止め対策は、「出生率を上げること」と「地域からの流出人口を少なくすること」としている。本市の対策は。

【答】地方への若者呼び込み策の一つである「教育・研究機会の充実強化」としての大学等の学びの場の充実や、その他、人口減少対策に有効な事業に取り組み、これから策定する「第6次長期総合計画」にも、しっかりと取りまわしていきたい。

九保大の新学部設置支援

【問】各種団体から新学部支援を積極的に行うよう、要望書が出ているが、民間からの支援の動向は。

【答】大学おうえん協議会では、臨時役員会を開催し、大学がもたらしている効果や、新学部の立地による効果など総合的に判断し、支援を決定した。現在、具体的な方法の検討をいただいている。

土曜授業

【問】北方学園の土曜授業の実施回数と、現段階における成果と課題は。

【答】実施回数は年10回の計画で予定している。まだ詳細な検証は行っていないが、成果は、平日に子どもたちと向き合う時間や、個別学習の時間への活用ができるようになった。子どもたちが参加する、各種大会等の調整が課題である。

運動器具購入補助制度

【問】健康長寿のまちづくり市民運動を進めているが、運動器具購入に対する補助制度の確立は。

【答】個人の健康づくりを進めていくためには、身近な地域での仲間づくりなどが重要であると考えている。市民運動モデル事業では、地域ぐるみの健康づくり活動に対して補助している。ロコモ予防のための運動器具補助については、地域による健康づくり活



動を支援する中で提案してい

犬猫の不妊手術補助制度

【問】犬猫の不妊手術の補助制度の確立は。

【答】避妊不妊手術そのものに対しては、動物愛護の面からも様々な意見があり、現段階において補助制度を設ける事は難しい。他市の事例等を見ながら研究する。



犬猫譲渡会

9月10日質問

長寿祝金支給事業

【問】88歳と100歳の高齢者に敬老の意を表すとともに、高齢者の福祉の増進を図ることを目的として行っている事業だが、「敬老の意を表す」とはどういうことか。

【答】多年にわたって社会の進展に貢献され、また豊富な経験と知識を有される方々として尊ばれるものであり、その長年の苦勞に心から感謝の意を表すということである。

フッ化物洗口

【問】虫歯の予防法のうち、歯磨きや糖分の上手な摂取では虫歯を減らせない。WHO等が推奨する予防法2位に、フッ化物洗口が挙げられている。県教育委員会も積極的に紹介していくとしているが、本市の状況は。

【答】新たに歯・口腔の健康づくりに関する検討会を立ち上げ検討を行う。

子どもの医療費助成拡大

【問】子どもの入院での医療費助成を、小学校まで拡充するためのシステム変更の予算が組まれているが、助成の実施時期は。

【答】来年の4月1日からの助成の実施を念頭に計上している。

障がい者施策の充実

【問】精神障害者保健福祉手帳2級を持っている人の、軽自動車税の免税は。

【答】2級障がい者は、援助を必要とすることが多く、軽

自動車が必要の生活手段となっており、27年度より新たに軽自動車税を減免する。

九保大への補助

【問】大学おうえん協議会に財政支援を要請していたが、現状は。

【答】支援をすることでまとまったと認識している。そのため準備をしている状況である。

過疎対策

【問】人口減少問題解消として、国の事業「地域おこし協力隊」の導入は。

【答】転入者による地域おこしと定住促進を目的とし、人口減少に資する制度である。配置体制、サポートの在り方、先進自治体も調査し、検討していく。

バイオマス発電施設

【問】発電所稼働がもたらす林業関係者への影響は。

【答】複数の発電所が、バイオマス材の調達を始めており、購入価格が上がるなど、森林所有者の所得向上につながる。

修学旅行

【問】地域の活性化や雇用に

つながる修学旅行の受け入れは。

【答】教育旅行マーケットの体験交流型旅行の需要は、高まっている。「延岡モデルの民泊構築」への作業を開始している。

遊休施設の活用

【問】旧消防庁舎更地となっている船倉団地跡地の今後の方向性は。

【答】来年度早々には民間へ売却を行う方向で調整を進めており、現在そのための準備を行っている。



旧消防署（船倉町）

まちなか循環バス優遇制度

【問】現在、バスカによる乗り継ぎ優遇措置はあるが、交通手段の不便な地域住民の負担軽減や、利用者の増加のため

の更なる優遇措置は。

【答】新たな割引制度の導入については、採算性や民間事業者等への影響といった課題もあるが、交通の不便な地域の対策として、今後運行事業者と協議を行いたい。



チキナン番長とバスカ君



外回り線愛称

あたご号



内回り線愛称

しろやま号



9月11日質問

乗り合いタクシー

【問】「須佐・鹿小路〜レヨン線」のルート変更の状況と実施時期は。

【答】本年11月からの運用開始に向け、新しいルートは、須佐〜無鹿〜二ツ島〜牧〜大武〜大門〜レヨンとし、利用者増を見込んで10人乗りのジャンボタクシーを使用する予定である。利用状況によっては増便も検討する。交通量の少ない場所に限り、バス停以外でも乗り降りできるフリー乗降についても検討する。



乗合タクシー

クレアパーク延岡第2工区

【問】分割分譲における分譲面積を小さくできないか。

【答】進出を希望される企業

の要望や事業計画、さらに工業団地全体のあり方など、様々な要素を十分に検討しながら分譲面積を決定したい。

学校給食

【問】食の大切さや正しい知識、安全性等、子どもの心身の健全な発達のため必要だが、地元産の食材の活用は。

【答】平成25年度の地元産食材の利用率は、県内産が51.3%、延岡産は13.3%である。

農業公園

【問】農業振興を図る交流拠点として、大型施設の整備に併せて設置するケースが多いが、「よつちみる屋」や「北川はゆま」などの周辺に農業公園を整備しては。

【答】道の駅北川はゆまなどを起点とし、その地域にしかない固有の資源や豊かな自然、そこできか経験できない農業体験等をつなげ、地域全域を農業公園として捉えていく取り組みが必要になってくると考えている。

人口減少社会への対応

【問】人口減少社会を見据えた本市の施策の方向性は。

【答】観光や地場産業の振興、企業誘致など交流人口の増加

や地域経済の活性化に向けた取組みを強化する。

日豊海岸地域の観光振興

【問】ひむか遊パーク海うららエリアの今後の展開は。

【答】マリッジジャーや変化に富んだ自然、美味しい食など、魅力あふれたリゾートパークであり、地元の皆様と協力して観光振興のための様々な取り組みを推進する。

土砂災害対策

【問】土砂災害危険箇所の現状と課題は。

【答】本市は県内市町村で最も多く1900箇所を超える危険箇所があり、整備率も30%弱である。今後も県や国に今以上に要望していく。



土砂災害危険箇所

指定緊急避難ビル

【問】緊急避難ビルに指定されていない学校数は。

【答】指定されていない学校は10校ある。その中で東小学校、延岡中学校、熊野江小学校については指定する予定である。



新しくなった東小学校

子ども・子育て支援新制度

【問】幼稚園利用者の保育料負担について、保育所と同様に減免措置の考えは。

【答】現行の利用者負担水準を踏まえ、新制度への円滑な移行の観点や幼稚園・保育所間のバランス等を考慮し、子ども・子育て委員の意見を踏まえ、適正な利用者負担を設定する。

愛宕通線別府工区の事業化

【問】別府工区の整備は。

【答】日豊本線向洋踏切と旭化成グラウンドの西側に隣接する引込線までの区間について、両側歩道の設置や引込線付近の見通し確保などに取組む。

用語解説

【注1】財務目録

ある時期において所有する財産と負債について、種類別にその数量と価格を記載した一覧表のこと。

【注2】ロコモ

ロコモティブシンドロームのこと。骨、関節、筋肉、神経といった運動器機能が低下して介護が必要になっているか、その危険が高くなっている状態のこと。

【注3】農業公園

園芸、造園、農業への理解と環境や食育を目的としたレクリエーションの場のこと。

延岡市議会 気持ちを一つに... 大分県佐伯市議会と熱戦!!



東九州自動車道の全線開通が近づき、議会でも東九州軸の連携を図ろうと、8月30日(土)、佐伯市蒲江町のマリナカルチャーセンターで、佐伯市議会とソフトボールの交流試合を行いました。



皆さまのご意見を議会活動に活かします!!

議会活動報告会を開催しました。

市議会では、開かれた議会の取り組みの一環として、議会活動報告会を開催しています。

報告会では、直近の定例議会での議案審査結果や各常任委員会が行った調査の経過などを報告し、参加者の皆様と意見交換を行っています。

7月には北川地区、南方地区、東海・南浦島浦地区、岡富川中地区。

10月には恒富地区、北方地区、伊形地区、北浦地区の計8会場で開催し、多くの皆様に参加していただきました。



ほたるの宿（北川町）



東海コミュニティセンター（大門町）



南方東コミュニティセンター（西階町）



社会教育センター（本小路）

議会活動報告会は平成25年に取り組みをスタートしました。これまで、20会場で実施し、820人を超える市民の皆様に参加していただいています。もっと多くの皆様に報告を聴いていただき、また、ご意見を伺える機会となるように取り組んでいきます。

御三方に哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

故 黒田忠巳氏を悼む



元市議会議員の黒田忠巳氏が、去る4月15日に73歳で逝去されました。

黒田氏は、昭和58年に初当選され、民生教育委員会副委員長などを歴任され、本市の発展と地方自治の進展に多大な貢献をされました。

故 佐藤道男氏を悼む



元市議会議員の佐藤道男氏が、去る7月15日に83歳で逝去されました。

佐藤氏は、昭和53年に初当選され、監査委員（議会選出）

副議長などを歴任された後、平成11年から2年間は議長を務められ、本市の発展と地方自治の進展に多大な貢献をされました。

故 高木益夫議員を悼む



高木益夫議員（無所属クラブ）が、去る7月29日に65歳で逝去されました。

高木氏は、平成7年に北川町議会議員に初当選され、12年間町議会議員を務められた後、合併後の平成19年には延岡市議会議員選挙に当選され、都市建設委員会委員長などを歴任された後、平成23年から1年間は副議長を務められ、本市の発展と地方自治の進展に多大な貢献をされました。

議会ニュース

故高木益夫議員の急逝により、委員会の構成が一部変更になり、新たに上杉泰洋議員が議会運営委員会委員、中城あかね議員が議会のあり方検討特別委員会委員となりました。

また、佐藤誠議員が都市建設委員会副委員長に就任しました。

編集後記

「備えあれば憂いなし」

今年も残すところ2ヶ月。今年の重大ニュースも気になるころです。広島島の豪雨災害、御嶽山の噴火等々。災害はいっ起こるか分かりません。

万が一の災害に備えての準備は大丈夫ですか？

南海トラフ地震が心配される中、本市においても津波避難タワーが市内2ヶ所に建設されることになりました。使われないに越したことはありませんが、準備は必要です。皆様も災害に備えての準備を心がけましょう。

これからも、市民の皆様のために、安心安全のまちづくりを行政と一体となり進めてまいります。

